

# 耐震補強工事実施者 動向調査 (平成15年7月1日～平成20年6月30日/木耐協調べ)

過去5年間（平成15年7月1日～平成20年6月30日）に木耐協の耐震診断を受診された方を対象に実施した「耐震診断に関する意識調査アンケート」に対してご回答いただいた12,503件について、耐震診断とアンケート結果についてまとめました。

## ■ 耐震診断結果（基本データ）

(平成15年7月1日～平成20年6月30日)

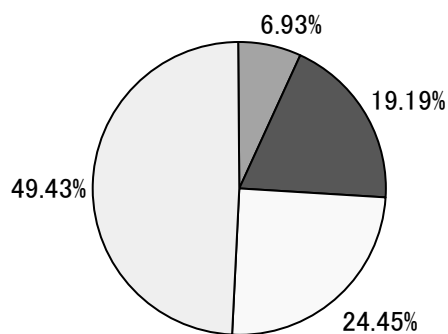
耐震診断対象家屋 : 昭和25年～平成12年5月までに着工された  
木造在来工法2階建て以下の建物

耐震診断方法 : 平成18年3月までに診断を行った建物については旧診断法、平成18年4月以降に診断を行った建物については新診断法による。

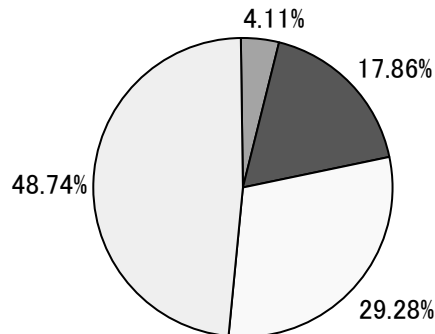
評点	旧診断（平成15年7月～平成18年3月）		新診断（平成18年4月～平成20年6月）		総計
	件数	割合	件数	割合	
1.5以上	676	6.93%	113	4.11%	789
1.0～1.5未満	1872	19.19%	491	17.86%	2363
0.7～1.0未満	2385	24.45%	805	29.28%	3190
0.7未満	4821	49.43%	1340	48.74%	6161
総計	9754		2749		12503
評点平均	0.79		0.77		
平均築年数	26.90年		25.79年		

平成16年7月に（財）日本建築防災協会から「木造住宅の耐震診断と補強方法」が発表されたことを受け、当組合では平成18年4月よりそれまでの「木造住宅の耐震精密診断と補強方法」を基準としたものから耐震診断方法を変更いたしました。本ページでは「木造住宅の耐震精密診断と補強方法」を基準とした耐震診断を「旧診断」、「木造住宅の耐震診断と補強方法」を基準とした耐震診断を「新診断」として区別しています。

### ■ 旧診断による各評点の割合



### ■ 新診断による各評点の割合



■ 1.5以上 ■ 1.0～1.5未満 □ 0.7～1.0未満 □ 0.7未満

■ 1.5以上 ■ 1.0～1.5未満 □ 0.7～1.0未満 □ 0.7未満